

評価事例 4

単 元 名	第5学年 Unit4 He can bake bread well.
単 元 の 目 標	自分や第三者のことをよく知ってもらうために、その人との関係やできることについて、伝えようとする内容を整理した上で話すことができる。 「話すこと [発表] イ」
言 語 活 動	学級の友達と「Who is this?クイズ」を出し合う。紹介したい人のことをよく知ってもらうために、自分との関係やできることなど伝えたいことを整理し、3つのヒントを話してクイズを出す。答え合わせて名前を発表する。

評価の進め方

児童を2つのグループに分ける。グループごとに集まり、1人ずつ前に出て発表する。教員とALTで担当するグループを決め、発表の様子を見ながら評価をする。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈知識〉 自分との関係や職業、動作などを表す語句や Who is ~? This is ~. Can you ~? I/He/She can/can't ~. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉 自分と第三者の関係やできることについて、上記の語句や表現等を用いて、話す技能を身に付けている。</p>	<p>自分や第三者のことをよく知ってもらうために、その人との関係やできることについて、伝えようとする内容を整理した上で話している。</p>	<p>自分や第三者のことをよく知ってもらうために、その人との関係やできることについて、伝えようとする内容を整理した上で話そうとしている。</p>



思考・判断・表現の判断基準

A：十分満足できる状況	「B」に加えて、既習の語句や表現を使って、更に詳しく伝わるように話している。
B：おおむね満足できる状況	紹介したい人について、3つのヒント（自分との関係やその人ができることなど）を話している。
C：努力を要する状況	「B」を満たしていない。

評価例（S = 児童， T = 教員）

Aとなる例	Bとなる例	Cとなる例
<p>She is my friend. She is my classmate.① She can play badminton well. She can cook well. She can make cookies.② Who is this? (他の児童が名前を答える) Yes. That's right! This is Sakura.</p>	<p>She is my friend. She can play badminton well. She can cook well. Who is this? (他の児童が名前を答える) Yes. That's right! This is Sakura.</p>	<p>S: She is my friend. She can play badminton well. Who is this? T: もう1つヒントはありますか。 S: ...</p>
<p>理由 紹介したい人について、3つのヒントを話しているだけでなく、①She is my classmate.と情報を付け加えたり、②She can make cookies.と具体的に話したりして、更に詳しく伝わるように話している。 紹介したい人のことが伝わるように、She is tall.や This is an anime character.などの表現を用いてクイズを出すことも考えられる。</p>	<p>理由 紹介したい人について、自分との関係や、その人の特徴が分かるようにできることを2つ挙げ、合わせて3つのヒントを話している。</p>	<p>理由 紹介したい人について、2つしかヒントを話していないため、その人の特徴が十分に伝わらない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「C：努力を要する状況」と判断した児童に対する指導や支援については、「指導・支援アイデア集」を参照</p> </div>

指導のポイント

- ・「Who is this?クイズ」を出すためには、紹介したい人を学級の友達や先生など、児童が知っている人から選ぶと良い。また、帯活動で「Who is this?クイズ」を取り入れ、児童に発表のイメージを持たせることも考えられる。
- ・紹介したい人について、自分との関係やその人ができることなどを、イメージマップやXチャートなどを活用したワークシートに書かせ、伝えたいことを整理する場面を設ける。
- ・ワークシートに整理して書いたことを英語で伝えるには、どのような語句や表現を知りたいか、既習の語句や表現をどのように使って話せば良いかを考えさせる。